

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日更新

事務事業名	ひまわり公園管理運営事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局	課長名 北里利朗
計画	施策	13 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成	所属課	生涯学習課	担当者名 森田由貴恵
体系	施策の柱	46 歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承	所属班	生涯学習班	(内線) 2522
予算科目	会計一般	款 10 項 5 目 7 事業連番 10826 根拠法令	文化財保護法		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	①ひまわり公園の貸出 ②ひまわり公園の適正な維持管理平成6年度の整備完了に伴い事業開始。 郷土の歴史を学ぶと同時に、地域住民の憩い・活動の場を提供・管理することを目的として事業を始めた。利用者においては変化は認められない。 公園内に建てられていた竪穴住居は、経年による老朽化や台風被害により、数年に一度大規模な修繕事業が必要となっていたことから、H23年度に撤去工事を行い、ひまわり公園の駐車場にした。H24年12月より、防災用自動販売機を2台基設置。
【業務の流れ】	①ひまわり公園使用許可申請書の受理、利用登録、使用料の受理、使用の許可 ②ひまわり公園の芝管理、樹木選定の委託、業者選定、入札、契約、発注、検査、支払 ③ひまわり公園における電気料と水道料の支払
【主な予算費目】	需用費(光熱水費・修繕費)、委託料
【意見や要望】	子どもが遊んでいることも多く見かけられるので、除草剤散布はせず草刈だけで対応してほしい。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	乗用芝刈り機の部品修理、通常メンテナンスを行った。 ひまわり公園の利用管理および適正な維持管理を行った。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 乗用芝刈り機の通常メンテナンス、消耗品交換。 東屋建替え修繕、ステージ等整備工事。 ひまわり公園の利用管理および適正な維持管理を行なう予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 公園利用申請件数	イ: 公園の手入れ回数	修繕費の減額
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
①市民	人	→ ア: 市民
②ひまわり公園	m	→ イ: ひまわり公園
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
①憩いの場として安全かつ快適に利用できる	人	→ ア: 申請による利用人数
②適正に維持管理される	件	→ イ: 苦情対応件数
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア 件		320	320	300	337	300	300	300	300	
	イ 回		4	8	10	10	10	10	10	10	
② 対象指標	ア 人		59,067	60,008	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	62,500	
	イ m		6,615	6,615	6,615	6,615	6,615	6,615	6,615	6,615	
③ 成果指標	ア 人		0	0	11,900	13,480	12,000	12,000	12,000	12,000	
	イ 件		0	1	0	2	0	0	0	0	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	74	121			84	130	130	130
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,096	2,886	1,603	527	1,469	1,900	1,900	1,900
		(A) 事業費計	千円	1,170	3,007	1,603	527	1,553	2,030	2,030	2,030
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	1	2	1	2	2	2	2
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	60	50	200	10	200	200	200	200	
	(B) 人件費計	千円	239	185	796	0	796	796	796	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,409	3,192	2,399	527	2,349	2,826	2,826	2,030	

事務事業名	ひまわり公園管理運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した ひまわり公園は適正に整備・管理された。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 若干ではあるが、利用が増えているので次年度も目標を達成できると考えている。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 新しい利用団体の増はなく、利用回数だけが増えている状況である。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 復元堅穴住居の撤去を行ったため、他の公園と特性が変わらなくなり、公園管理事業と統廃合できるのではないかと考える。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 維持管理について、他の施設等における同様の事業とあわせて発注することで経費の削減を目指すことが出来る。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限の人件費で管理運営している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 公園の占用については、利用料金を芝生広場半面を1時間100円で貸し出している。また市外居住者の利用料金は、市内のその2倍となっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 グランドゴルフ等の公園利用団体へは、占有名目で料金を徴収しており、また利用予約の受付も行なっていることから行政で事業を実施するのが妥当と考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

公園は適正に管理・整備を行った。公園内に災害時対応型自動販売機を設置し、地域の災害時の拠点としての役割も担っている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策